

進化を続ける沼津の教育をご紹介します

Introducing the ever-evolving education in Numazu

1



小学校 新型学習用PC

小学校の学習用端末を最新の「Lenovo 500e Chromebook」に更新。鉛筆で手書き入力ができる画面を搭載し、従来の「調べる」活動に加え、「書く・描く・表現する」学びをより豊かにします。耐久性も高く、持ち運びも安心な設計です。
(中学校には令和8年度以降に新型を導入予定)

2



小中学校 情報モラル教材

学校が情報モラル学習で活用している『事例で学ぶNetモラル』は、SNSやゲームでの身近なトラブルをアニメで疑似体験できる教材です。「ダメ」と押し付けるのではなく、トラブルの背景を考え、自ら判断する力を養います。ネット社会を賢く生き抜く力を身につける内容ですので、ご家庭でも話題にしてみてください。

3



小中学校 Canva

子供たちの表現力や創造性を育むため、デザインツール「Canva」を授業や委員会等で活用しています。直感的な操作で資料やポスターを作成しながら、自分の考えを視覚的に分かりやすく伝える力を養います。友達との共同制作を通じ、協力して成果物を作り上げる楽しさも体験します。

4



小中学校 生成AIが学習サポート

沼津市では、デジタル社会を生き抜く力を育むため、Google社の生成AIを授業に導入します。AIを単なる回答ツールではなく、思考を深める「パートナー」として活用し、情報の正誤を見極める力や創造性を養います。安全な利用方法も指導しますので、新しい学びの形をぜひ温かく見守ってください。

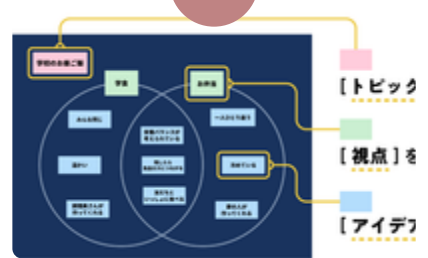
5



小中学校 デジタル教材の活用

1人1台端末を活用した「ICTのある毎日」を通じ、デジタル教材の活用を推進しています。デジタル教科書やAIドリル（4月よりベネッセ社に変更）等を活用し、一人一人の習熟度に応じた「個別最適な学び」と、考えを共有し深め合う「協働的な学び」の実現を目指します。ICTを活用した質の高い学びへのご理解とご協力をお願いします。

6



小中学校 ロイロノート

全校で授業支援アプリ「ロイロノート」を試験運用します。自分の考えをカード形式で整理し、クラス全員で意見を即座に共有・比較できることが特徴です。子供たちの思考の可視化や、双方向の活発な対話を促し、主体的に学ぶ力を育みます。新しい学びの形へのご理解とご協力をお願いいたします。

Q：子供の荷物を軽くしてほしいので、Chromebookの持ち帰りをしなくてもいいですか？

A：Chromebookの持ち帰りは、学校と家庭の学びを途切れのないようにつなぐことを目的としています。また、警報発令や急遽登校ができないような場合も想定し、市内では原則として学習用端末の持ち帰りをお願いしています。

ただし、以下の場合は学校に相談をして持ち帰りをしなくても構いません。

・家庭にあるパソコン等で、Chromebookを持ち帰ったときと同等の学習環境を整えることができる場合には、必ずしも学校のChromebookを持ち帰る必要はありません。

【入学・転入時配布の「Chromebookの持ち帰りや御家庭のWi-Fi環境の整備等についてのお願い」より】



Q：持ち帰っても宿題をしていないと思います。どうしたらいいですか？

A：Chromebookを持ち帰る分、ドリルや教科書などの持ち帰りを減らすように学校も計画・実施し、宿題や予定帳などをデジタル化したことで、保護者の方からするとお子様の家庭学習が見えづらくなっていることがあります。

AIドリルは学習支援機能もあるため、お子様が保護者の方を頼る機会が減ることもあります。ぜひご家庭で「どんな宿題をChromebookでやっているのか。」「Chromebookを使って、どんな授業をしているのか。」を話題にしてもらえると幸いです。

また、今後は様々なテストや試験がオンラインで実施されるようになります。学校では紙面テストの経験も、オンラインテストの経験も子供が習得できるように、ドリルやテストの一部をデジタル化をしていきます。



Q：何でもネット、デジタルとは言うけど、情報モラル教育はどうしていますか？

A：沼津市教育委員会では、1人1台端末を活用した「ICTのある毎日」を進めています。ICT活用の前提として、情報モラル教育の充実は不可欠です。

そのため、沼津市では平成の時代から全ての学校で情報モラル教育の学習教材として、「事例で学ぶNetモラル」を導入、令和3年度からは「NetモラルCBT（※）」も導入して、各学校の実施計画に基づき、個人情報の取扱いやオンライン上のマナー等の指導を徹底しています。失敗から学ぶ機会も大切にし、安全かつ効果的にICTを使いこなす力を育てております。

今後は生成AIの活用も進むため、著作権や肖像権、知的財産権等の法令遵守、倫理観の育成、リスクマネジメント等にも注力して行っていく予定です。

※ Computer Based Testing（コンピュータ・ベースド・テスト）
パソコンやタブレットを使って受験する試験方式で、オンライン試験の総称です。

